

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

みだしのことについて、本市全体の状況については、下記のとおりです。

なお、本年度は小学校2教科、中学校2教科（小中…国語、小中…算数・数学）の調査を実施しました。

記

1 本年度の各教科平均正答率 ※経年比較は別紙1参照

		国語	算数・数学
小学校	本市	67	62
	三重県	67	62
	全国（公立）	67.7	63.4
中学校	本市	57	54
	三重県	57	53
	全国（公立）	58.1	52.5

※ 文部科学省は、微小な差異は点数的に学力の違いを示すものではないことから、平成29年度より小数点以下は四捨五入し整数で示しています。

小学校は国語、算数において、共に三重県平均と同等、全国平均は下回る結果でした。

中学校は国語が三重県平均と同等、全国平均は下回り、数学が三重県・全国平均以上の結果でした。

2 本市の小中学校の状況

		強み	弱み
小学校	国語	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること	自分の考えが伝わるように表現方法（話し方の工夫）として適切かどうかを判断すること
	算数	必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること
中学校	国語	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択すること	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること
	数学	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること	図形を回転移動させたとき、図形の辺や角の対応を読み取ること

3 今後の方針

- ・ 今回の調査結果の詳細な分析を行い、本調査問題の趣旨等を踏まえた具体的な授業改善の視点を提案します。さらに、各学校において自校の分析結果公表を指示し、特に課題が見られた学校には、適切に指導・助言を行い、学校と連携して学力向上に取り組みます。
- ・ 学習や生活の基盤となる言語能力や問題発見・解決能力、情報活用能力等を育成するために、就学前から小学校・中学校の期間において一貫性・連続性のある指導の充実を図ります。
- ・ 非認知能力の育成を推進し、子どもの主体的に学習に取り組む態度を育成します。
- ・ 家庭への啓発を図るとともに、ICTを効果的に活用することにより、家庭学習と授業との連携を行い、学力の定着を図ります。